

WEEKLY NEWS 2013-2014年度 第2640地区 和歌山東南ロータリークラブ

週報 36号
通算 2088回



例会日：水曜日
第1・第2：18:30～(夜) 第3・第4・第5：12:30～(昼)
例会場：ルメール華月殿 和歌山市屋形町 2-10
事務局：〒640-8215 和歌山市橋丁 23
サイバーリンクス N-4ビル 2階
TEL 073-423-3666 FAX 073-423-7200
http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html
E-mail：a-rotary@coral.cypress.ne.jp
会長：郷間博敏 幹事：奥村智子
会報委員長：谷口 拓・副委員長：赤在依美



橋本市の木《もくせい》

本日の例会
4月16日(水)
12:30～華月殿

ロータリング：花になろう鳥になろう
行事：会員卓話「裁判員裁判について」
谷口 拓会員

次回の例会
4月23日(水)
12:00～

行事：移動見学例会
「陸上自衛隊信太山駐屯地」

先週例会報告

ゲスト：特定非営利活動法人子どもセンターるーも 理事 土井智也様

副会場監督 赤在 依美

会長挨拶

郷間 博敏 会長

土井様本日卓話よろしくお願いいたします。
天候の方は不順で、先日、高野山で雪が積もりました。この寒い中、台北東南RCの皆様が、岡山後楽園RCの記念式典に来られ、翌日道後温泉、その後、丸亀RCに行かれる様です。和歌山へは今回はこられません。「今後も宜しく」とPEF様からお電話がありました。



幹事報告

奥村 智子 幹事

- ・IM第3組 第1部全体会議での発表者を土屋会員にお引き受けいただきました。テーマは「無料公衆無線LANの設置」です。会員皆様のご参加、ご協力よろしくお願いいたします。
- ・ガバナー事務所から休暇のお知らせが届いています。4月30日(水)～5月2日(金)
- ・辻ガバナーエレクトより4月6日(日)に開催されました「クラブ会長エレクト懇談会」ご出席のお礼状が坂口会長エレクトに届いています。
- ・国際大会に当クラブより出席者がいないため国際大会信任状(委任による代理者)を和歌山南RC 豊田会長にお願いいたします。



ニコニコ箱

中曾 真二郎 会計

郷間君・坂口様 先日お世話になりました。
辻本君・土井先生、本日はよろしく。
市川君・第3回マージャン同好会 なぜか優勝させて頂きました。
谷口君・土井先生、本日 卓話宜しくお願いします。
ご本人お誕生日お祝い・籠田君。



《ロータリーの 効用》

③ ロータリーは 信用をつくる。

ニコニコ	米山奨学金	ロータリー財団	東南育英会	紀南災害義援BOX
累計 1,990,257	147,000	150,000	26,000	0

出席報告	出席者	出席率
会員総数 52名	4/9	37名 75.51%
出席免除会員 4名	3/19	40名 80.00%

有本君・ご無沙汰してました。又よろしく。

南君・坂口会員、奥村会員、有難うございました。

《 委員会報告 》

ロータリー情報・規定副委員長 籠田 弘



第4回 IDMテーマを発表いたします。

・ホームクラブ出席率の向上について。・皆出席するための妙案。

以上のテーマを各班で纏めていただいて、5月21日(水)12:30~の例会にて発表をお願いいたします。

東南会ゴルフ同好会 会長 宇治田堅三



第6回東南会ゴルフですが、5月24日(土)⇒29日(木)に変更いたします。場所は変更ございません。有田東急ゴルフクラブです。

例会委員長 辻本圭三



4月23日(水) 移動見学例会「陸上自衛隊信太山駐屯地」の行程をお知らせいたします。

11:15 集合 華月殿 (東側駐車場 20台程確保していただいています)

11:30 バスにて出発 和歌山地方裁判所北側

(例会は信太山駐屯地で行えないため、バスの中で例会を行い、・食事(お弁当)をしていただきます。)

13:00~13:30 信太山駐屯地概要説明等講話 (厚生センター)

13:30~13:40 信太山施設見学

13:40~14:10 修史館見学

14:10~ 休憩等

15:00 離隊後帰和

当日は信太山駐屯地広報の係の方が対応してくれます。
係の方にしたがって行動して頂くよう宜しくお願い致します。

《 第5回東南会ゴルフ 》 4月10日(木)関西空港ゴルフ倶楽部



1位 山本 真司会員
2位 市川 正夫会員
3位 津川 善昭会員



外部卓話「和歌山における児童虐待と子どもシェルター」 NPO 法人 子どもセンターるーも 理事 土井智也（弁護士）様



1 子どもシェルターとは

みなさんは子どもシェルターをご存じでしょうか。世の中には、様々な理由から帰る場所を失ってしまった人がいます。大人でもそのような境遇に陥ってしまった場合には大変な思いを余儀なくされるでしょう。それが、子どもであった場合には大人とは比較にならないほど大変な状況を強いられることは想像に難くありません。

子どもシェルターは、このような帰る場所のない子どもが安心して休むことができる施設のことなのです。

2 全国的な広がり

本稿執筆時点（平成26年4月）で、日本には9つのシェルターがあります。場所は、東京、愛知、神奈川、岡山、広島、京都、福岡、北海道、そして和歌山です。

最初に東京に「カリヨン子どもの家」が設立されましたが、これが平成16年のことでした。その後、全国に広がっています。多くのシェルターの設立や運営には弁護士が関わっています。といっても、弁護士会が設立主体となるわけではなく、あくまで有志の弁護士が中心となってやっています。

そして、福祉や医療、教育など、子どもの福祉に関わる様々な分野の方がこれら弁護士と連携をし、それぞれの地でニーズに応じたシェルターを運営しています。

3 シェルターに入る子どもたち

シェルターのイメージを持っていただくために、いくつかの具体例を挙げてみたいと思います。

例えば、親に虐待されている子どもからSOSがあれば、シェルターで受け入れることになるでしょう。虐待から子どもを守るためには、まずその子どもを親から隔離する必要がありますが、その時にシェルターがあればそこで受け入れることができます。そのために、既存のほぼ全てのシェルターではその設置場所を非公開としています。また、非行を犯してしまった少年について、通常であれば保護観察処分や不処分で家に帰れるようなケースであっても、親が保護者・監護者として不適切であると判断されるような場合では、少年の更生という観点から少年院送致という審判がなされることがあります。そのような時に、シェルターがあれば、そこを受け入れ先として試験観察等の処分をすることで少年院送致を回避できる可能性があります。他にも、シェルターは数人程度を定員とするごく小規模な施設であるため、児童養護施設等での集団的な処遇になじまない特性をもった子どもの受け入れ先になることも想定されるでしょう。このように、様々な境遇、性格等をもった子どもたちを受け入れるために子どもシェルターが必要なのです。

4 和歌山での取り組み

和歌山でも弁護士や臨床心理士、社会福祉士、福祉関係者など様々な人がシェルター立ち上げに向けて結集し、平成25年2月28日にNPO法人が設立され、同年10月1日よりシェルターを開設しました。私の話を聞いて頂き、シェルターに少しでも興味をもってくださる方がおられれば、これに過ぎる喜びはありません。

こんな子どもの居場所です。
概ね15歳～20歳の女の子を対象にしています。

虐待・放任などにより家に居場所がない、
集団生活が苦手な自分で合った環境が欲しい、
非行から立ち直れる力があるのに居場所がない、
※18歳以上の子どもは児童福祉法の対象ではなく、居場所がなくとも支援を受けられない子どもがいるのです。

「子どもセンターーも」とは
「子どもセンターーも」は、虐待その他の理由により居場所を失った子どもに安心して暮らせる場所を提供し、常に子どもを主人公にして寄り添い、子どもの生きる力を回復させることを目的としています。

「子どもシェルター」とは
子どもの生きる力を取り戻したい子どもの力で・・・
子どもが選んだ道を大人が支える子どもがその道を進んでいく
弁護士、社会福祉士、医師など色んな専門家が子どもを支えます。

「子どもセンターーも」 名前の由来
「るも」は、スペイン語で「光」、「輝き」を意味します。子どもは、未来を照らす光であり、輝く存在であるという意味がこめられています。また、スペイン語は国際共通語であり、日本だけでなく世界中の子どもを救いたいという思いもこめられています。

「子どもセンターーも」の支援の流れ

- 1 お電話ください**
子ども本人でも周りの大人でもOK ☎073-425-6060 10時～17時まで
- 2 入所までの手順**
一人一人に弁護士がつくよ
面接などで詳しい事情を伺います。 ※子どもには「子ども担当弁護士(コタン) (無料)」がつきます。
- 3 「シェルター」での生活**
生活費の心配はいらぬよ
安全かつ安心な場所で休んでもらいます。スタッフ、コタンのほか、たくさんの大人が子どもを支えます。期間の目安は2週間～2か月程度です。
- 4 次の居場所へ**
自分に合った場所を見つけよう!応募するよ
スタッフやコタンと一緒に次の居場所を探します。 ※ 家庭復帰、他の施設、住み込み就職など

子どもたちを救うための場所

特定非営利活動法人
子どもセンターーも

《アンコール小児病院訪問の報告》

岡山後楽園ロータリークラブ会長 由良 眞言 国際奉仕委員長 内山 満
アンコール小児病院支援プロジェクト 代表 土井 基之

1月14日～20日にアンコール小児病院を土井基之、大角雄三の2名で訪問して参りました。目的の一つは、私達4RCの2回の支援金により、バンコックに研修に行っていた看護師に会い、4RCからの支援の目録を渡す事でした。

初回はSan Vichet 君が、2回目はKol Sokry 君が研修に行っております。

2人共真面目に医療業務に取り組んでおり、小児病院の貴重なスタッフとして活躍していました。



Certificate of completion

This is to certify that **San Vichet** has attended the *International Short Course Training for Nurses and Nurse Educators* at Boromarajonani College of Nursing, Bangkok.

Awarded by:
Praboromarajchanok Institute of Health Workforce Development

Taipei south-east rotary club (Taiwan)
Wakayama south-east rotary club (Japan)
Marugame east rotary club (Japan)
Okayama Kohrakuen rotary club (Japan)

Date: 15/1/2014

Certificate of completion

This is to certify that **Kol Sokry** has attended the *International Short Course Training for Nurses and Nurse Educators* at Boromarajonani College of Nursing, Bangkok.

Awarded by:
Praboromarajchanok Institute of Health Workforce Development

Taipei south-east rotary club (Taiwan)
Wakayama south-east rotary club (Japan)
Marugame east rotary club (Japan)
Okayama Kohrakuen rotary club (Japan)

Date: 15/1/2014